

令和4年度第10回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和5年1月18日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)
大西 秀典(岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授)
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)
大野 元(岐阜県産婦人科医会 理事)

オブザーバー: 市原 拓(岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長)

事 務 局 : 山田 涼子(感染症対策推進課 技師)
今尾 幸穂(保健環境研究所 疫学情報部長)
岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)

4 議 題 (進行:馬場委員、STI:大野委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) その他(感染症対策推進課から)

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○来年度の感染症法改正に伴う感染症発生動向調査への影響(見通し)

- ・法改正に伴い医療現場での混乱がないよう行政からの迅速な情報提供をお願いしたい。
(事務局から)
- ・速やかに情報提供を行っていく予定です。

○今シーズンのインフルエンザの流行について(継続)

(事務局から)

- ・岐阜県は2023年第1週から流行入りし、発生報告数にはなおも上昇傾向がみられます。今後の発生動向についてご意見をいただけないでしょうか。

(委員から)

- ・今シーズンのインフルエンザの流行入りは、新型コロナウイルス感染症が出現する以前のシーズンに比べて遅いが、今後の発生動向を注視していく必要がある。
- ・新学期が始まり、今後、小児領域での発生動向に注意する必要があると思う。